

Veeam Backup & Replication v11: アーキテクチャと設計

期間: 2日間

理論/演習: 50 / 50

概要

「Veeam® Backup & Replication™ v11: アーキテクチャと設計」はITプロフェッショナルを対象とした2日間のトレーニングコースです。Veeam独自のソリューションアーキテクトで使用されているVeeamアーキテクチャ方法論に沿って卓越した技術を獲得し、Veeamソリューションを効果的に設計する方法を身に着けます。

2日間のコースの間、受講者は、要件の収集およびインフラストラクチャの評価という目標について検討し、この情報を使用して、チーム演習を通じてVeeamソリューションを設計します。受講者は、論理的な設計を物理的な設計に変えるときに考慮しなければならない点を分析し、その設計を実装するチームへの責任について説明します。また、Veeamソリューションを設計する際のセキュリティ、ガバナンス、検証の影響や、これらを全体的な設計に組み込む方法についても検討します。

受講者には、チーム演習への貢献、設計のプレゼンテーション、意思決定の根拠を示すことが期待されます。

資格認定

このコースを修了すると、Veeamの資格認定で最高位にあるVeeam認定アーキテクト (VMCA) 試験の受験資格を得ることができます。VMCA認定は、アーキテクチャと設計コンセプトの知識を証明するもので、実世界の環境において、Veeamソリューションを効率的に設計するために必要なスキルのレベルを示しています。

対象者

Veeam環境のアーキテクチャ作成責任を持つシニアエンジニアおよびアーキテクト

前提条件

受講者には、Veeamを使った豊富な実務経験と、サーバー、ストレージ、ネットワーク、仮想化、クラウド環境に関する幅広い技術的知識が求められます。VMCE認定を受けていると理想的です。

目的

このコースの修了後、受講者は以下が可能になります。

- 実世界の環境でVeeamソリューションを設計、アーキテクトすること
- ベストプラクティスについて説明し、既存のインフラストラクチャをレビューして、ビジネスやプロジェクトの要件を評価すること
- 関連性の高いインフラストラクチャ指標を特定し、コンポーネント (ストレージ、CPU、メモリ) の数量調整を行うこと
- 設計に従って、実装およびテストのガイドラインを提供すること
- 要件に合ったVeeam Backup & Replication機能を選び、設計の課題や弱点へ革新的に対応すること

コースの概要

はじめに

- アーキテクチャの原則の確認
- 優れたアーキテクチャとはどのようなものかを探る
- Veeamのアーキテクチャ方法論の確認

検出

- 既存環境の分析
- 関連するインフラストラクチャ指標の明確化
- 想定事項とリスクの明確化
- 環境の複雑さの特定

概念設計

- 検出段階でのシナリオとデータの確認
- 要件に基づいてリソースを共有するオブジェクトの論理グループを特定する
- ビジネスおよび技術的な要件、制約、想定事項、リスクを詳しくまとめた表の作成
- 各製品コンポーネントを念頭に置いて、インフラストラクチャデータを確認する
- 高いレベルの設計とデータフローの作成

論理的な設計

- VBRの重要コンポーネントおよび機能を要件と一致させる
- 論理グループの作成
- コンポーネントの所在地と論理グループとの関連の決定
- 論理グループごとに必要なコンポーネントリソースの数を集計
- コンポーネント（ストレージ、CPU、メモリ）の数量調整の計算

物理的な/手で触れる設計

- 論理的な設計を物理的な設計に変換する
- 物理ハードウェアのサイジング
- Veeamの物理的バックアップコンポーネントの一覧の作成

実装とガバナンス

- 物理的設計と実装計画の確認
- Veeam実装強化の確認
- 実装チームに対するアーキテクトの責任の説明
- 設計に関連する実装の詳細についてのガイダンスの提供

検証と反復

- 設計のテスト方法に関するフレームワークの提供
- 修正シナリオに従った設計のさらなる発展